

平成 28 年中の交通事故概況

# 府内交通事故死者数は 年統計を開始した昭和 23 年以降最少の 60 人

京都府警察本部交通部交通企画課

## はじめに

交通事故統計は、全国統一の基準により実施され、交通事故防止対策を推進する上での基礎資料として活用されています。

この度、平成 28 年中の交通事故の状況をとりまとめましたので、その概要をお知らせします。

## 1 京都府内の交通事故発生状況

平成 28 年中の京都府内における交通事故の発生状況は、

- ・発生件数…………… 8,087 件
- ・死者数…………… 60 人
- ・負傷者数…………… 9,678 人

で、発生件数及び負傷者数は 12 年連続の減少、死者数については 60 人で統計の残る昭和 23 年以降最少となりました。

しかしながら、65 歳以上の高齢者の死者数が全死者の約半数を占めたのを始め、自転車乗用中の交通死亡事故や飲酒運転による交通死亡事故が前年より増加しているなど、交通情勢は依然厳しい状況にあります。

## 2 交通事故の年次別発生推移

平成 28 年中の京都府内の交通事故による年間の死者数は、ピーク時の昭和 47 年、48 年（各

360 人）に比べ、6 分の 1 にまで減少し、また、発生件数は、昭和 48 年の 18,812 件に対し、8,087 件となり、約 6 割減少しています。

一方、自動車保有台数は、死者数の最も多かった昭和 48 年の約 55 万台に対し、約 134 万台となっており、約 2.4 倍の増加となっています。

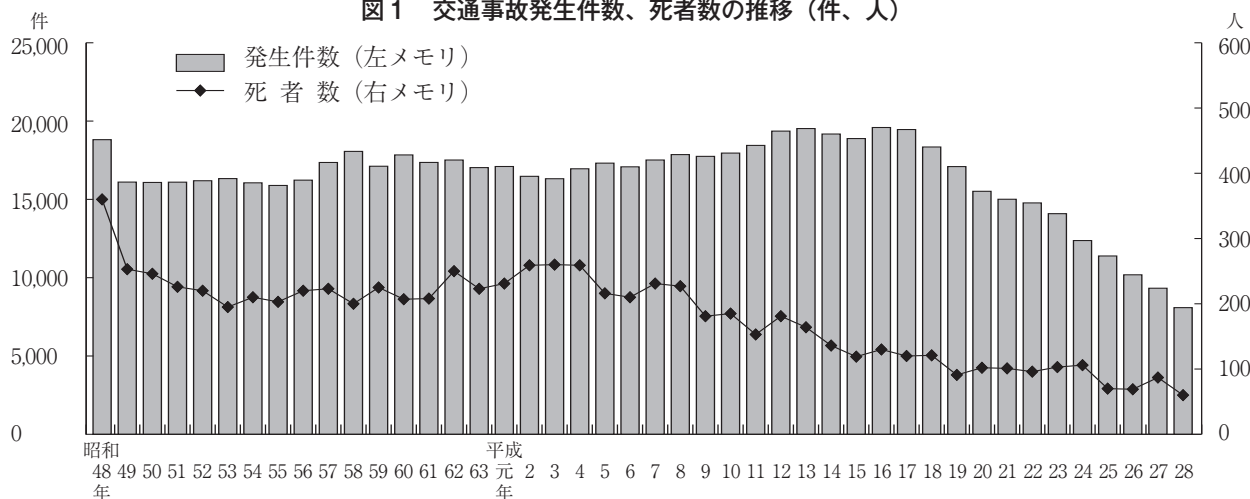
こうした推移の下で、自動車千台当たりの交通事故発生件数は、昭和 48 年の 34.4 件に対し、6.0 件まで減少しています。（図 1、第 2 表）

（昭和 48 年と平成 28 年との比較）

区 分	発生件数 (件)	死者数 (人)	負傷者数 (人)
昭和48年	18,812	360	25,542
平成28年	8,087	60	9,678
増減対比	△ 10,725	△ 300	△ 15,864
増 減 率	△ 57.0%	△ 83.3%	△ 62.1%

発生件数、死傷者数が減少した背景を見ると、重大事故に直結する危険性の高い交通違反に対する交通指導取締り、子どもや高齢者を対象とした交通安全教育等の施策を始め、信号機等の交通安全施設や道路の整備改良等の交通事故抑止対策の実施、エアバッグや A B S 装置車等の普及、緊急医療体制の整備等によるものが考えられます。

図 1 交通事故発生件数、死者数の推移（件、人）



### 3 交通事故の地域別発生状況

平成 28 年中の京都府内の交通事故 8,087 件中 4,909 件 (60.7 %) が京都市内で発生しています。

路線別では、国道 1 号が 521 件で最も多く、次いで国道 9 号が 451 件、国道 24 号が 330 件、国道 171 号が 167 件の順となっています。

(地域別交通事故発生件数)

地域	発生件数	割合
京都市域	4,909 件	60.7%
山城地域	2,184 件	27.0%
南丹地域	362 件	4.5%
中丹地域	410 件	5.1%
丹後地域	222 件	2.7%
総 数	8,087 件	100.0%

(地域区分)

- ・山城地域：宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、木津川市、乙訓郡、久世郡、綴喜郡、相楽郡
- ・南丹地域：亀岡市、南丹市、船井郡
- ・中丹地域：福知山市、舞鶴市、綾部市
- ・丹後地域：宮津市、京丹後市、与謝郡

区 分	発生件数 (件)	死者数 (人)	負傷者数 (人)
国道 1 号	521	6	679
国道 9 号	451	6	602
国道 24 号	330	1	423
国道 171 号	167	0	197

### 4 交通事故の類型、違反内容

#### ■ 交通事故の類型別発生状況

交通事故は大別すると「人対車両」、「車両相互」、「車両単独」及び「列車」の 4 つに分類され、平成 28 年中の発生状況は、次表のとおりです。

(交通事故類型別状況)

区 分	発生件数 (件)	死者数 (人)	負傷者数 (人)
人対車両	975	23	990
車両相互	6,935	26	8,467
車両単独	177	11	221
列 車	0	0	0
総 数	8,087	60	9,678

類型別に見ると、人対車両では「道路横断中」の事故が 564 件で最も多く、死者数 17 人、負傷者数 567 人となっています。車両相互事故では、「追突」が 2,311 件で最も多く、死者数 4 人、負傷者数 3,242 人、次いで「出会い頭」が 2,011 件

で死者数 5 人、負傷者数 2,269 人となっています。

(事故類型別状況)

区 分	発生件数 (件)	死者数 (人)	負傷者数 (人)
人対車両小計	975	23	990
横断歩道横断中	284	3	294
その他横断中	280	14	273
人対車両その他	411	6	423
車両相互小計	6,935	26	8,467
正面衝突	155	6	227
追突	2,311	4	3,242
出会い頭	2,011	5	2,269
右折時	771	1	859
左折時	576	1	594
車両相互その他	1,111	9	1,276
車両単独小計	177	11	221
工作物(電柱等)	79	7	121
単独事故その他	98	4	100
列 車	0	0	0
総 数	8,087	60	9,678

#### ■ 事故当事者の違反内容

交通事故の原因を第 1 当事者から見ると、主な法令違反は次表のとおりです。

(第 1 当事者の主な法令違反)

安全不確認 前方・左右	1,097 件
安全不確認 後方	706 件
前方不注意 (脇見等)	1,007 件
前方不注意 (考え事等)	330 件
動静不注意	1,065 件
ハンドル・ブレーキ操作不適	520 件
交差点安全進行義務違反	1,006 件
指定場所一時不停止等	221 件
信号無視	206 件
歩行者妨害等	297 件

### 5 交通事故の主な特徴

平成 28 年中の京都府内の交通事故の特徴を

- ・高齢者
- ・子ども
- ・自転車
- ・歩行者
- ・飲酒運転

の事故別に見ると次のとおりです。

### ■ 高齢者（65歳以上）の事故

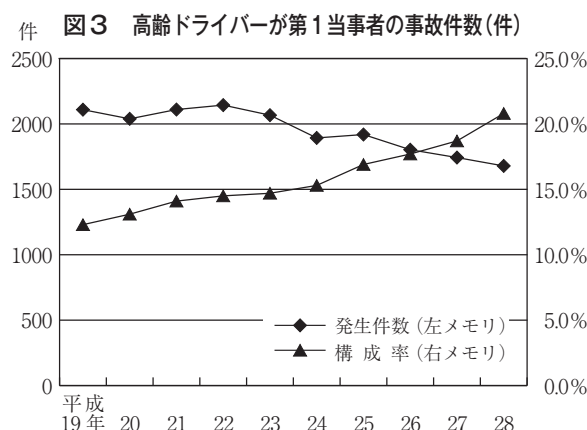
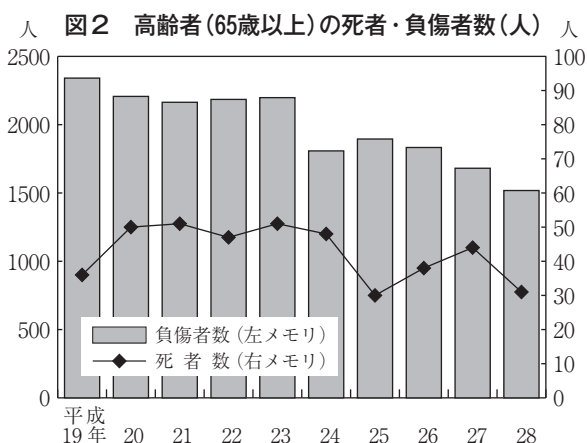
高齢者（65歳以上）の交通事故死者数は31人で、年間の死者数（60人）の51.7%を占めています。高齢死者の事故時の状態は次のとおりです。（図2）

- ・歩行中等……………17人
- ・自転車乗用中……………8人
- ・自動車乗車中……………5人
- ・自動二輪車乗車中……………1人
- ・原付車乗車中……………0人

高齢死者の事故時の通行目的を見ると、「買い物」が9人で最も多く、次いで「訪問」の7人、「散歩」の5人の順となっています。

年間の交通事故全死者に占める高齢者の割合は、平成20年以降50%前後の高水準で推移しています。

一方、高齢ドライバーが第1当事者となった事故は、1,679件発生し、前年対比64件減少していますが、全事故に占める割合は年々増加傾向にあります。（図3）



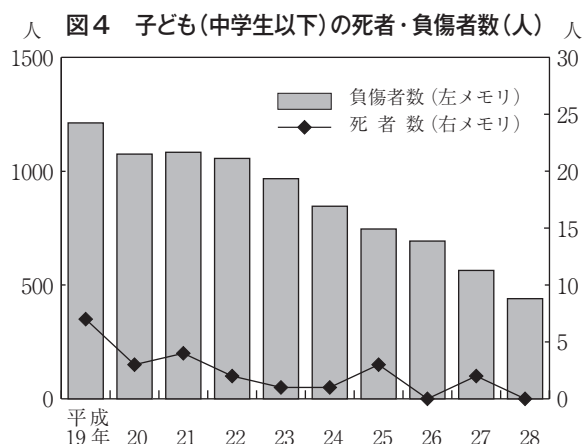
### ■ 子どもの事故

子ども（中学生以下）の交通事故による死者数は0人、負傷者数は440人です。

死傷者の事故時の状態を見ると、自動車同乗中が174人で最も多く、次いで自転車乗用中・同乗

中が137人、歩行中が125人、自動二輪車・原付車同乗中が4人となっています。

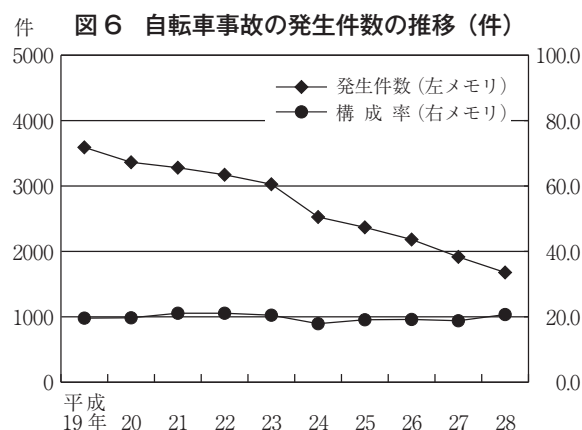
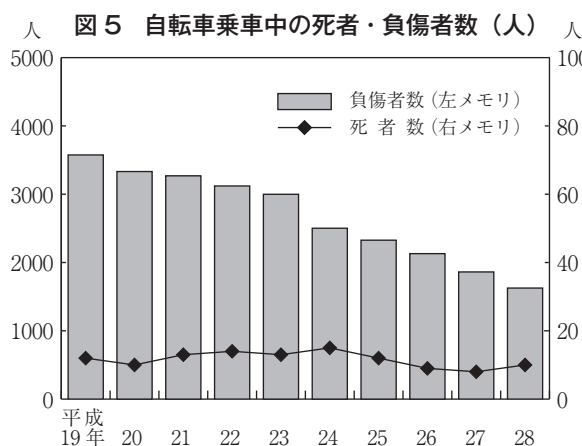
過去10年間の交通事故死傷者数の推移を見ると、平成19年1,212人と比べると約6割（63.7%）減少しています。（図4）



### ■ 自転車の事故

自転車に関する交通事故の発生件数は1,678件、死者数は10人、負傷者数は1,626人（うち、重傷者は284人）となっています。（図5）

発生件数は年々減少傾向にありますが、全事故に占める割合は20%前後で推移しています。（図6）



自転車に関係する事故の主な特徴は、次のとおりです。

- ・ 出会い頭の事故が 51.5%
- ・ 交差点内での事故が 78.2%
- ・ 対自動車事故が 78.0%
- ・ 8～10時、16～18時に多発

等となっています。

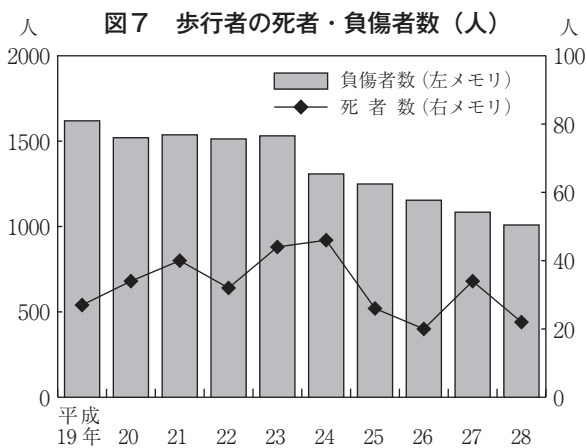
なお、自転車と歩行者との衝突事故は、56件発生しています。

### ■ 歩行者の事故

歩行者の事故は975件発生し、死者数は22人(歩行者以外の道路上の人を含む)、負傷者数は1,001人で、全死者のうち歩行者の死者は36.7%を占めています。(図7)

歩行者の死亡事故の主な特徴は、次のとおりです。

- ・ 高齢者が17人(77.3%)
- ・ 道路横断中が16人(72.7%)
- ・ 夜間の発生が15人(68.2%)



歩行者事故の相手車両を見ると、自動車が755件(77.4%)で最も多く、次いで原付車が70件(7.2%)、自転車が56件(5.7%)、自動二輪車が52件(5.3%)、その他が42件(4.3%)の順となっています。

相手車両(第1当事者)の主な違反は次のとおりです。

- ・ 安全不確認 284件
- ・ 動静不注視 85件
- ・ 前方不注意 76件
- ・ 横断歩行者妨害 233件

一方、歩行者にも全体の26.7%に当たる260件に違反がありました(第2当事者を含む)。

違反内容を見ると、「飛び出し」、「横断禁止場所の横断」、「車両の直前・直後の横断」、「横断歩道外の横断」、「左側通行」、「信号無視」等が挙げられます。

また、夜間歩行中の死者の反射材の着用状況を見ると、着用は1人、非着用14人でした。

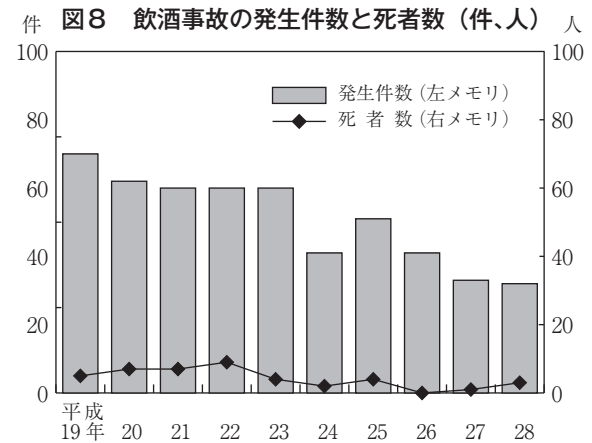
### ■ 飲酒運転の事故

第1当事者が原動機付自転車以上の車両を運転中の飲酒事故は32件発生し、死者数は3人、負傷者数は45人となっています。

飲酒事故を事故類型別に見ると、「追突」が15件で最も多く、次いで「人対車両」が5件、「車両単独」が4件の順となっています。

飲酒運転による交通事故は、減少傾向で推移し、近年は下げ止まり状態にあります。平成28年は、飲酒運転による死亡事故が前年対比で2件増加しています。(図8)

(注) 飲酒運転の件数、人員は、酒酔い運転及び政令数値以上の酒気帯び運転の合計で示しています。



- ▼ 「第1当事者」とは、最初に交通事故に関与した車両等(列車を含む)の運転者又は歩行者のうち、当該交通事故における過失が重い者をいい、過失が同程度の場合には人身損傷程度が軽い者をいう。
- ▼ 「死亡」(「死者」とは、交通事故によって、24時間以内に亡くなった場合(人)をいう。

第1表 市区町村別交通事故発生状況

(単位：件、人)

区 分		発生件数	死亡事故		重傷事故		軽傷事故	
			件数	人員	件数	人員	件数	人員
総 数		8,087	60	60	1,221	1,277	6,806	8,401
京都市域	北 区	333	1	1	56	61	276	322
	上京区	206	3	3	37	38	166	195
	左京区	368	1	1	75	75	292	350
	中京区	441	2	2	76	78	363	428
	東山区	286	2	2	40	42	244	296
	山科区	383	2	2	51	51	330	426
	下京区	446	3	3	57	64	386	465
	南 区	587	4	4	81	82	502	631
	右京区	534	2	2	77	79	455	537
	西京区	414	4	4	63	65	347	430
	伏見区	911	0	0	133	136	778	941
	京都市計	4,909	24	24	746	771	4,139	5,021
山城地域	宇治市	575	4	4	87	89	484	593
	城陽市	243	0	0	29	30	214	261
	向日市	179	0	0	30	30	149	174
	長岡京市	198	3	3	35	35	160	184
	八幡市	247	3	3	33	35	211	259
	京田辺市	225	2	2	36	40	187	245
	木津川市	138	1	1	23	25	114	148
	大山崎町	48	0	0	4	4	44	57
	久御山町	205	1	1	26	27	178	226
	井手町	22	0	0	5	5	17	20
	宇治田原町	27	0	0	2	2	25	32
	笠置町	5	0	0	3	3	2	3
	和束町	6	0	0	1	1	5	7
	精華町	64	0	0	13	13	51	60
	南山城村	2	0	0	1	1	1	1
山城計	2,184	14	14	328	340	1,842	2,270	
南丹地域	亀岡市	244	4	4	28	28	212	277
	南丹市	79	3	3	9	10	67	92
	京丹波町	39	0	0	5	6	34	47
	南丹計	362	7	7	42	44	313	416
中丹地域	福知山市	187	5	5	33	42	149	194
	舞鶴市	144	3	3	32	35	109	135
	綾部市	79	2	2	9	9	68	93
	中丹計	410	10	10	74	86	326	422
丹後地域	宮津市	58	1	1	5	6	52	73
	京丹後市	111	4	4	20	24	87	135
	与謝野町	52	0	0	6	6	46	63
	伊根町	1	0	0	0	0	1	1
	丹後計	222	5	5	31	36	186	272

第2表 年次別交通事故発生状況

(単位：件、人)

区分	交 通 事 故					自 動 車 保有台数	自動車 千台当 りの発 生件数	人 口	人口10万人当たり	
	発生件数	うち死亡 事故件数	死者数	負傷者数	うち 重傷者数				死者数	負傷者数
昭和40年	12,977	289	304	15,714	…	191,074	67.9	2,102,808	14.5	747.3
41	14,833	317	332	18,600	…	221,831	66.9	2,125,053	15.6	875.3
42	16,705	278	296	21,832	…	261,425	63.9	2,160,488	13.7	1,010.5
43	21,227	294	309	28,786	…	307,377	69.1	2,193,535	14.1	1,312.3
44	25,771	337	346	35,504	…	360,911	71.4	2,219,118	15.6	1,599.9
45	25,066	331	356	35,122	…	409,784	61.2	2,250,087	15.8	1,560.9
46	23,222	340	351	32,155	2,834	454,795	51.1	2,280,682	15.4	1,409.9
47	21,455	341	360	29,407	2,640	502,458	42.7	2,321,777	15.5	1,266.6
48	18,812	341	360	25,542	2,458	546,900	34.4	2,362,094	15.2	1,081.3
49	16,105	242	253	21,572	2,239	567,999	28.4	2,394,209	10.6	901.0
50	16,082	224	246	21,252	1,635	583,771	27.5	2,424,856	10.1	876.4
51	16,100	216	226	21,042	1,579	612,420	26.3	2,452,193	9.2	858.1
52	16,191	216	220	21,096	1,570	641,592	25.2	2,475,558	8.9	852.2
53	16,328	184	195	21,232	1,334	673,371	24.2	2,495,922	7.8	850.7
54	16,058	201	210	20,464	1,407	705,298	22.8	2,512,566	8.4	814.5
55	15,890	195	203	20,462	1,923	736,399	21.6	2,527,330	8.0	809.6
56	16,229	203	220	20,829	2,147	768,247	21.1	2,539,192	8.7	820.3
57	17,357	213	223	22,111	2,418	803,548	21.6	2,553,097	8.7	866.0
58	18,065	190	200	23,298	2,486	839,889	21.5	2,567,529	7.8	907.4
59	17,117	211	225	21,895	2,286	874,869	19.6	2,577,849	8.7	849.4
60	17,839	202	207	22,604	2,480	908,550	19.6	2,586,574	8.0	873.9
61	17,360	199	208	22,137	2,407	948,451	18.3	2,594,420	8.0	853.3
62	17,514	245	250	22,277	2,596	984,290	17.8	2,599,876	9.6	856.8
63	17,029	213	223	21,546	2,541	1,030,888	16.5	2,603,742	8.6	827.5
平成元年	17,100	222	231	22,276	2,661	1,083,997	15.8	2,605,810	8.9	854.9
2	16,473	248	259	21,032	2,826	1,127,021	14.6	2,602,460	10.0	808.2
3	16,320	250	260	21,297	2,741	1,158,023	14.1	2,606,196	10.0	817.2
4	16,955	242	259	21,471	2,994	1,175,768	14.4	2,612,619	9.9	821.8
5	17,315	206	216	22,016	3,021	1,199,095	14.4	2,614,955	8.3	841.9
6	17,080	200	210	21,597	2,815	1,226,232	13.9	2,619,007	8.0	824.6
7	17,515	216	231	21,961	2,816	1,258,193	13.9	2,629,592	8.8	835.1
8	17,860	215	227	22,273	2,724	1,289,403	13.9	2,633,334	8.6	845.8
9	17,748	175	181	21,927	2,657	1,315,122	13.5	2,636,750	6.9	831.6
10	17,957	177	185	22,021	2,571	1,324,790	13.6	2,641,787	7.0	833.6
11	18,447	149	153	22,787	2,417	1,334,441	13.8	2,643,580	5.8	862.0
12	19,360	174	181	23,971	2,518	1,344,972	14.4	2,644,391	6.8	906.5
13	19,523	159	164	24,311	2,634	1,350,132	14.5	2,646,143	6.2	918.7
14	19,174	130	136	23,570	2,566	1,352,434	14.2	2,646,555	5.1	890.6
15	18,884	118	119	23,129	2,385	1,349,689	14.0	2,647,889	4.5	873.5
16	19,590	129	130	24,162	2,485	1,359,708	14.4	2,648,245	4.9	912.4
17	19,460	117	120	23,747	2,412	1,379,483	14.1	2,647,660	4.5	896.9
18	18,346	118	121	22,374	2,382	1,384,894	13.2	2,644,075	4.6	846.2
19	17,094	90	91	20,655	2,161	1,360,903	12.6	2,638,510	3.4	782.8
20	15,517	99	102	18,565	2,039	1,351,648	11.5	2,635,134	3.9	704.5
21	15,009	100	101	17,972	1,914	1,339,734	11.2	2,631,441	3.8	683.0
22	14,775	95	96	17,813	1,357	1,335,232	11.1	2,636,092	3.6	675.7
23	14,087	103	103	17,065	1,245	1,332,132	10.6	2,632,496	3.9	648.2
24	12,371	96	106	15,088	1,444	1,334,766	9.3	2,627,313	4.0	574.3
25	11,387	67	70	13,801	1,530	1,337,012	8.5	2,620,210	2.7	526.7
26	10,185	67	69	12,387	1,526	1,343,090	7.6	2,613,594	2.6	473.9
27	9,328	87	87	11,262	1,345	1,342,212	6.9	2,610,140	3.3	431.5
28	8,087	60	60	9,678	1,277	1,343,233	6.0	2,610,353	2.3	370.8

注1 自動車台数は軽二輪以上の二輪車を含む。各年12月末現在

2 人口は各年10月1日現在の推計値、国勢調査年は国勢調査人口